

広報 なかがはま 12月号



町づくり提案で表彰を受ける皆さん

五つの町民憲章制定

今月号の主な内容

- 町議会第三回定例会……………2～5
- JRコーナー……………5
- 財政公表(昭和62年9月末現在)…6～7
- 企業誘致の足跡……………8～9
- 長浜文芸・一歳ですコンニチハ…………9
- 今日も元気で……………10
- ルポ・表彰……………11

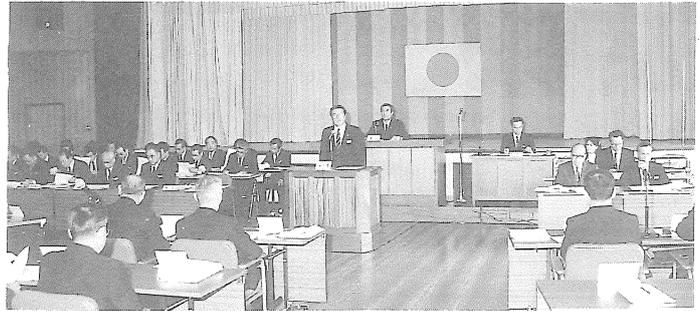
- 一、恵まれた自然を大切に美しく住みよい町を築きます。
- 二、教養を高め、かおり豊かな文化の町を築きます。
- 三、働く喜びをもち、希望と活力に満ちた町を築きます。
- 四、スポーツに親しみ、健康で明るい町を築きます。
- 五、ささえ合って、あたたかい家庭と福祉の町を築きます。

十一月三日、文化の日に長浜町中央公民館大ホールで、長浜町民憲章制定記念大会が開かれ、約四百人が参加しました。

長浜町民憲章
制定記念大会

昭和六十二年十一月三日制定

わたくしたちは、美しく豊かな自然に恵まれ、輝かしい歴史と伝統にはぐくまれた長浜町民であることに誇りをもち、力を合わせて、生きがいのあるふるさと長浜を築くためにこの憲章を定めます。



議会 第3回定例会

長浜町議会第三回定例会が、十月二十七日から二十九日までの三日間の会期で開かれました。

今回上程され審議されたのは、昭和六十一年度一般会計、国民健康保険など七つの特別会計の決算認定、昭和六十二年一般会計及び水道事業会計などの補正、教育委員会委員の任命、請負契約の締結三件など議案十五件、道路整備促進についての決議一件、陳情文書二件。うち落石危険対策に関する陳情は受理採択されました。決算の認定とカラーリング施設にかかる町助成交付についての陳情は継続審議となり、その他の議案は原案通り可決されました。

請負契約三件を承認

櫛生福祉センター新築工事は、七千七百九十万円で(株)門田組と、喜多漁港の改修工事(分割三)は、七千八百七十万円で(有)長浜建設と、漁業集落の環境整備を図るための改修事業(分割一)は八千三百三十五万円で(株)西田興産と請負契約を締結することが承認されました。

落石危険対策に

関する陳情書を採択
九十九区長菊地俊正さんほか八人から提出されていた「落石危険対策に関する陳情書」は受理採択されました。

また、「カラーリング施設にかかる町助成交付についての陳情書」は、継続審議となりました。

長浜港湾改修工事

負担金など

一般会計補正

昭和六十二年一般会計に二億四千七百五十四万二千円が補正され、予算総額は三十九億八千六十八万五千円となりました。

今回補正されたおもな使いみちは次の通り。

【総務費】松本・黒田等の集会所の修繕費百二万円。

【民生費】高峰地区内道路改良工事ほか、大谷口地区の墓地移転工事変更に伴う工事費千六百四十万

円。
【衛生費】今坊埋め立て地周辺水域水質調査委託料二百万円。
【農林水産業費】かんきつ産地整備促進対策事業補助金三百六十九万四千八百円。高峰農道改良工事費など。

【土木費】県道長浜一中村線道路改良負担金二千四百六十五万円。長浜港湾改修工事負担金一億二千六百万五千円。

【教育費】長小屋内運動場椅子運搬、車収納庫工事請負費など。

【災害復旧費】町道都梅線災害復旧工事ほか。

副議長に津田氏

新しい議会構成できる

長浜町議会の新しい副議長に、津田龍雄氏(今坊・五三歳)が選ばれました。

この人事は、議会最終日二十九日の本会議で東正行氏が副議長の職を一身上の都合により辞任したい旨を届け出たため、これを承認して新しい副議長の選出が行われ、選ばれたものです。

また、各委員会の構成替えも行われ、次の表の通りになりました。

長浜町議会構成表

◎委員長・会長 ○副委員長

議長	桜田和夫
副議長	津田龍雄
議員	◎菊地満男 二宮英二 城戸岡政雄 二宮義徳 桜田和夫
議会運営委員会	◎西宮正幸 日高照友 大野真良 中野茂明 二宮英二 城戸岡政雄 菊地満男 桜田和夫
常任委員会	◎中野茂明 〇田中堅太郎 津田龍雄 東正行 城戸岡政雄 菊地満男
	◎日高照友 〇久保義章 二宮英二 久井貞治郎 西宮正幸 堤正和
	◎大野真良 〇菊地儀明 田中定幸 和永永吉 二宮義徳 桜田和夫
地域開発事業員	◎二宮英二 〇東正行 和永永吉 久井貞治郎 城戸岡政雄 菊地満男 二宮義徳 桜田和夫
河川特別調査員	◎田中定幸 〇二宮義徳 二宮英二 城戸岡政雄 菊地満男 桜田和夫
大洲・喜多衛生員	桜田和夫・菊地満男
八幡濱・大洲地区広域組合	桜田和夫・津田龍雄
大洲市・喜多郡市長	桜田和夫
住宅入居者員	大野真良 津田龍雄 和永永吉 東正行 久井貞治郎 城戸岡政雄 西宮正幸
都市計画委員	二宮英二 和永永吉 城戸岡政雄 西宮正幸



【津田副議長略歴】昭和九年生まれ。農業。

町議三回当選。産業建設常任委員長。文教厚生常任副委員長。土地改良区理事。大洲農学校卒。今坊

一般質問

今回の議会では、堤正和議員、田中堅太郎議員、久保義章議員が質問を行いました。

土地転がしではない

昭和電工の工業用地

堤議員：先般地元企業から、町

を通して、昭和電工用地千七百坪の売買の要請があり、昭和電工にアプローチしたところ、坪単価約十万円という返事があったようであるが、この土地は地元企業のため、あるいは働くところを作るため、の発想のもとに、最初五年間は売買禁止や買い戻し特約条項を作り、地元企業からは買い戻したところもあったように記憶している。なぜ昭和電工だけを見逃し、土地転がしといえる大資本優遇を許したのか。この事は町当局が中に入ったのなら、利息一〇％で計算しても十五年であるから、二万五千円の土地であれば売買価格は六万五千円になる。もし十万円で取り引きされたのなら、この開発は本間に目的を達したのか。大資

町議会第三回定例会

本家、あるいは一企業のための仕事を作っただけであったのか。この行政責任は誰が受けるかお答え願いたい。

次に、昭和電工には、まだ手のついでない土地が三万坪ある。あの造成地は、坪あたり一万九千円が売れたのであるから、現在、町が買い戻しをして売買しても、今の埋め立て地よりは格安になるはずである。そうならば、地元企業も早く走着し、固定資産税も入ってくると思うが、町長はこの三万坪、あるいは昭和電工に対してどのような考えを持っているのか。

西田町長：地元企業と昭和電工の土地の売買については、当初地元企業の方から「今後の企業経営の中でどうしても土地を確保したい。」という相談があった。土地の売買は、民間と民間の間で結ばれるものであるが、そういった要望があったので、町としても両者の納得のいくような形での仲介をすべきであろうと考え、その役を務めさせて頂いた。ご指摘のように坪約十万円という価格であるが、この価格は両者の同意を得て、第三者の公的な評価を基準に出している。この土地の売買は適正に行われたものであり、大企業が土地転がしに利用するようなことは毛頭ないと考える。

昭和電工の三万坪の土地については、現在もコンタクトを取り、企業の進出計画というものを強力にお願いしている。しかし、現在の経済状況の中では、企業自体も

なかなか踏み込めない現状である。町としては一日も早く企業進出をして頂きたく、その旨をひき続きお願いする所存である。

堤議員：昭和電工の工業用地は企業間での売買であり、土地転がしではないという答弁であったが、土地転がしではなくても、現に金利以上のものが三万円は出ている。町が幹旋したのなら、なぜ三万円も利益が出るような売り方になつたのか。五千万円ももうかっていくようなことをやっておいて民間と民間だから関係ないと言うのなら、町が入る必要はないと思う。少しでも町へお金が落ち、地元の企業が有利になる売買の方法を取っていかないといけないと思う。

三万坪については、株が暴落し世界恐慌ではなからうかと言われている状況の中で、日本経済が急によくならず、また企業が来るというような考えは見通しが甘いのではないか。地元企業である一宮工務店が新居浜に土地を買ったが、十万円よりははるかに下である。その辺のことを考えておかないと町の収益にはつながらないと思う。

西田町長：昭和電工の三万坪については、昭和電工の所有地であり、固定資産税も町に入っている。町の負担は売買の時点で終わっているという点をご認識頂きたい。企業の方へは、土地を売却し、進出をお願いしており、ご指摘のように経済事情の変化により実現できていないことは残念であるが、

引き続き、そのような姿勢で要請していくつもりである。

堤議員：地元の企業に対しては物を作れ、売れ、と指導し、買い戻しをしておいて、昭和電工に対しては、その時点で縁が切れているが企業進出を待っている。とのことだが、昭和電工だけがオイルショックを受けたわけではない。他の企業はそれなりに対応しているのに、それを土地転がしでも何でもないと。待っているだけではない。早く対処しなければならぬと思う。

とにかく早く買い戻して、町が分割売買していくぐらいの気合いでない、長浜が住みよい町にはならないと思う。

二者が一体となつて

農協の指導と補助事業

堤議員：当農協のみかんの市場値段が新聞紙上に掲載されなくなつて久しい。私は疑問を感じて営農者に尋ねたところ、越境販売や不正流通により、長浜青果農協には、あまり良い品が出荷されな

ためであるとの答えだった。この事は、農協への手数料の減収となり、町税への影響が出てくるだけでなく、農協の存続すら危ぶまれる。町当局としても、実態を把握した後で、補助金とか助成金を考えていく必要に迫られていると思うがどうか。

農家に対して半額補助をしたように記憶している。この機械を償却もせずに、今度は大型機械購入の補助を出せというのは、考えが甘すぎるのではないかと、町としてはどのように考えているのか。

西田町長：カラーリング助成の陳情については、議会に対しても出ているところであり、今後いろいろな観点から助成についても判断しなければならぬと考えている。

堤議員：カラーリングの助成をするからいけないといった質問ではない。今後農協をどのようにしていくかであり、どのような対策を立てて不正流通を直していくかである。行政指導はやるのかやらないのか。農協の収益が悪くなる、補助や助成ということになつてくるのではないかと。だからどのような指導をするのか。

西田町長：ご指摘のように、第一次産業をとりまく環境は非常に厳しい。行政としては、組合、農家の方々の三者が一体となつて厳しい状況を乗り越えるための知恵を出し、努力をすべきだと思う。従つて、カラーリング等で効果があるのなら、援助しなければならぬであろうと考える。農業行政全般においても、消費者、マーケットの需要に応じて対応できるような農業基盤を確立するための問題を今後研究しながら対応していくかなくてはならないと思う。

堤議員：カラーリングへの補助が良いとか悪いとかではなく、農協のあり方をどう指導していくのかを聞いている。⑤のみかんが中央で高値で売れるために、どのような指導をしていくのか。現在農協はどのように手を入れているのか。その辺を調べて答弁を願いたい。

西田町長：ご指摘のように、現状の問題点はいろいろあるかと思う。行政としては高品質で低コスト、といった形での農業経営をしなくてはならないと考える。横流しという問題を解決する意味でも、品質の均一化を図らなくてはならない。行政、農協、農家の三者が一体となつて進めていかなくてはならない。

車の両軸として

セザス社の諸問題

堤議員：セザスジャポン社の誘致決定について、理事者は当議会に対して何の合議もなく発表されたが、この事は議会を無視した行為であり、議会軽視である。ひいては町民不在の、町長の独断行為であると言われても弁解の余地がないと思われるがどうか。今後も続くであろう工業誘致に対して、何をもちて企業進出の歯止めにするのか。

次に、二次造成地の売却残地については、歴代町長から明確な答弁を頂いているが、西田町長からは答弁や施政方針の中にも記憶がないので、確認しておきたい。二次の残地については、ジョイント

町議会第三回定例会



9月26日に行われた起工式

ベンチャーが買い取ることになっている。また、伊方原発のロー、ハイレベルの残留物の置き場として売り渡さないものと、歴代の町長は答弁してきた。西田町長にも疊りのない答弁をお願いする。

西田町長：セザス社進出の経緯については、先般の定例議会でも申し上げたように、六月四日に企業から報告があった。その後、六月十九日には地域開発事業特別委員会に報告している。六月二十四日の県知事との共同記者会見に至るまで、大変スケジュールが過密であり、議会特別委員会開催の日程等の問題もあったため報告が十五日後になったことは、先般の議会でもお詫びしている。

第二次開発についてはご指摘の通りであり、前町長のご答弁通り私もそのように考えているので、ご理解願いたい。

堤議員：議会軽視ではないと言われるが、時間がなかったからと

いう答弁では答弁になってないと思う。今後どのように歯止めをかけるのか、議会にかけて町民のチェックを受けるのか、今まで通りかけずにいくのか。

西田町長：特殊な、あるいは必要なものについては皆さんのご意見、ご指導を仰がなければならぬと思う。セザス社については、ごく一般的な企業の進出だと判断した。公害防止協定については議会にもお諮りしているところであり、そのようなことを重ねて企業の進出というものを決定したい。

堤議員：全然関係のないものならそれでいいという考えではないかと思う。どのような企業で、公害はどうであるか、せめて協議会の中での合意くらいは得てから物事を決めていかないと、開発委員会が済んだからというのでは、四年に一回の選挙が泣く。その辺を配慮して反省して頂きたい。

西田町長：セザス社の進出については、答弁の通りである。基本的に車の両輪であるという姿勢で企業進出についても、議会の皆さん方のご指導、ご協力を仰ぎながら対応していきたいと考える。

検討を進めていく

庁舎の冷房について

堤議員：私がこの夏、役場にきて感じた事は、なぜ冷房がないのか。今や地域冷房の時代であり、ぜい沢ではなくなっている。町民の皆さんはもちろんのこと、町職

員は正に炎暑地獄であり、扇風機をフル回転させ、文鎮を並べている風景を目にした。このような状態で来年の夏を迎えることのないように、この機会に町長のお考えを聞き、お約束頂きたい。

西田町長：このことについてはいろいろと検討しているところである。特に職員のみならず、庁舎を利用される方についても、環境改善の一環として必要なものであると認識している。しかしながら、庁舎が昭和十一年に建築されたものであり、冷房の効率、将来計画等、種々の問題があるので、これらのことを勘案しながら、十分検討して進めていきたい。

堤議員：冷房効率、次の計画と言われるが、それまであの暑い所で過ごしていくのか。来年の話としてお願いしたい。

西田町長：利用者、そして職員の健康上も大切なことである。新庁舎ということではなく、現庁舎の改造も検討しなければならぬ時期がくると思う。行政改革という意味も含め、財政の許す範囲で整備時期を検討したい。

堤議員：行政改革と言われるが、暑いので人が休んで仕事にならないのも行政改革になるのか、たちまち来年の夏のことを考えていかなければならないと思う。

西田町長：そういった問題点を含みながら検討している。現時点で検討中であり、冷房設備設置の時期についての答弁は控えたい。

人づくりが出发点

指導者育成について

田中堅議員：先日、町づくりでは全国的に有名な、久万町の助役さんの講演を拝聴させて頂いたが町づくりの基本的な考えは、話し合いの場を多く持ち、人づくり、指導者づくりを大切に考えていかなければならないと申されていた。

長浜町においても町づくり元年と称し、町づくりに対する意見を求めているようであるが、その結果どのような意見が出、それに応じた町づくりをどのように考えておられるのか。また、指導者が必要になってくると思うが、どのような形で研修させ、養成しているのか。

以前、仲間づくり、人づくり、指導者養成ということ、町内の勤労青年を北海道方面へ研修をさせていたことがある。十年余りにわたり、約百人の青年が参加しており、人づくりに大変大きな成果があったと思う。町づくりロマン講座もこの研修生を中心に活動しており、町づくりの大きな柱は青年の行動力にあると思う。他県、他町村の感覚に融れるためにも、青年の国内研修を再開してはどうか。

また、大洲市、喜多郡、双海町あたりと合同で協議し、海外研修を試みてはどうか。

西田町長：先般、各地で開催させて頂いた町づくり懇談会については、時間帯等の問題もあり、町

民の方々にご迷惑をおかけした。そういった中で、行政推進のあり方、生活改善のための貴重な意見を出して頂き、町民の方の考える町づくりを改めて認識した。今後とも町民の皆さんのご意見を聞くという姿勢のもとに、行政を進めていきたい。

指導者養成という問題は、極めて重要な問題であると思っている。町づくりは、視野の広い行動力と実践力を持った人づくりが不可欠であり、地域に魅力と活力を創造するための人材養成を図っていくことが、何よりも肝要であると考えている。人づくりこそ、地域を変えていく出发点であり、そのための学習や活動は広い領域にわたって行われているところである。

現在、公民館における各種学級講座、任意団体であるPTA、婦人会、青年団などが、それぞれの目的に添って学習や活動を行っており、商工会、農協などにおいても、人づくりや産業おこし、町づくりに視点をあてた講演会や、学習会が行われているところである。町づくり委員会でも三部門において、調査研究や具体的な活動を進めていることはご承知の通りである。

教育委員会においても、町づくりロマン講座が開設され、私も出席している。今後、青少年、婦人、老人クラブの方々を対象として会を開く等、各産業の後継者を中心とする、町づくり人材育成塾のようなものを企画し、町づくりの核となる人づくりを進めていきたい。

JRコーナー

国内研修については、三年間にわたる青年の強い要望に応え、当時の西田町長の英断で県下に先がけて実施したものであり、昭和四十七年九月から昭和五十一年七月まで、十一回にわたり行われた。特長は、夏に長浜町の青年が北海道へ、冬には北海道の青年が長浜町へ訪れるという交流研修であったが、その後双方とも、青年の生活と意識の変化、産業構造の変化などの理由で、長期間の研修に参加できる青年が減少し、財政等の問題もあって現在に至っている。現在でも青年の間では交流が続いており、担当部局である教育委員会とも協議し、研修の目的、研修地、研修期間、青年の要望等も考慮して対応していきたい。

合同海外研修については、二十一世紀の我が町、そして日本を展望する時、極めて重要なことだと思ふ。行政エリアの問題、市町村の施策や方針等の関係もあるので、十分調整研究を行いたい。

物心両面での
指導育成を
農業問題について

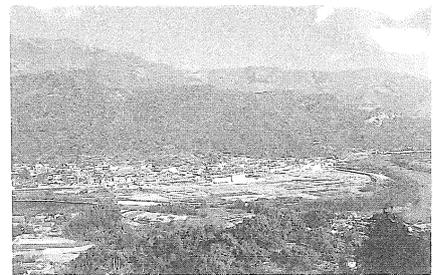
田中堅議員：現在、第一次産業に従事する方が減少し、第二次、三次産業に従事する方が増えている。昨年の若者の就農人口は、全国で四千人、医者卵ですら一万一人いる中で、このことを町長はどのように受け止めているのか。ま

た、長浜町の農業をどのように位置づけ、今後どのようにしていくのか、農林業に対して町当局は、補助金さえ出しておけばいいと考えているように思われるが、農家では、心の問題を重要視してほしいという意見がかなり多くある。先進地等では、行政側からこの作物はどうかとか、この辺に道路はどうかとか、後継者の館は、嫁不足の問題は、いろいろな話し合いをし、一つ一つ実行していることである。人づくり、心の豊かさを求める今日、町当局の実際の対応を期待する。

西田町長：歴史的、伝統的にみても、本町にとって第一次産業は主幹産業であると考えている。ご存知のように第一次産業をとりまく環境は大変厳しいが、今後の方向としては、行政、組合、生産者が一体となって、高品質、低コスト、流通改革等、消費者のニーズに答えるものを作る体制を確立しなければならぬと考えている。後継者の問題についても、先ほど人づくりの面で申し上げた通り、人材の育成が一番大切なものの一つであると考えている。ご指摘のように、物心両面での指導育成をしていくつもりである。

総合整備
計画の中で
観光行政の推進

久保議員：若年労働者が定着し、豊かな魅力ある町づくり、町の活



河川敷の利用が望まれる堤防建設予定地

性化を進めるために、長浜町に最も有力な活性化は観光事業である。とその道の有識者が診断している。きびしい財政の中ではあるが、たちまちやれるところから手を付けなければならぬと思う。白滝公園、長浜海水浴場、沖浦観音、金山出石寺等、観光の目玉は、他町村より恵まれ、歴史的、地理的にもひび出ている。基本的な部分での行政ビジョンの構築、観光客のための駐車場の確保は、観光行政の重点施策であると思う。

そこで、第一点として、脇川河川敷を有効利用してはどうか。何百台もの車を駐車できると共に、各種イベントを催すことも可能である。

第二点として、水族館復活の早期対応を望む。長浜水族館が廃館になったので、近隣市町村でも水族館の計画があると聞く。後手にならないよう、情報の入手、対策をお願いする

西田町長：現在、町づくりの大きな柱として、観光を見直そうと、策定中の長浜町総合整備計画の中にも位置づけ、開発計画をつめていきたいと考えている。

河川敷の利用については、基本的に工事完成まで、目的外の使用が禁止されている。ただし、町としては非公式ではあるが、将来、例えば児童公園、町民広場、駐車場、緑地といった面での有効利用について、口頭ではあるが話を進めており、見通しも明るい感じがする。現在、正式な文書による要請の準備を進めており、従って、

今直ちにお願ひしても許可にならない。

水族館については、三次計画の中で対応したいと考えており、現在、県営埋立て工事で予定されている緑地の土地利用計画として、県を通じて運輸省にお願ひしている。「後手にならないよう」ということであるが、八幡浜市、宇和島市、伊予市、中島町、三瓶町、菊間町、に計画があるようである。ただし、私たちが得た情報としては、当町が一番進んでいると自負している。今後も長浜町が最先端をいくよう、最善の努力をする。

JRコーナー

年末、年始の乗車券
指定席券の予約はお早めに

JR四国では、十二月二十七日から一月五日までの間、正月を郷里で迎える帰省客の利便を図るため、予讃本線に臨時特急列車を増便運行し、利用一カ月前から乗車券(急行・特急・新幹線)と指定席券の予約発売をしています。この期間は、大変な混雑が予想されますので、切符の購入は町内の各駅(いよ長浜駅・いよ白滝駅)へ早めにお申し込み下さい。また、各駅では飛行機・船舶・旅館予約等の手続きも行っています。

臨時特急列車表

下り↓	宇和島行き	S.62.12.27~12.31
期間		
高松	午前0時50分発	
松山	午前3時56分着	
長浜	午前4時42分着	
白滝	午前4時51分着	
上り↑	高松行き	S.63.1.3~1.4
期間		
松山	午後11時50分発	
高松	午前3時44分着	
※上り	は松山始発のため、松山駅で乗り換え	

必要列車

海岸線 今日も未来も

なお、十二月三十一日から一

現在長浜町の財政

財政状況の公表

長浜町の財政事情の作成および公表に関する条例により昭和62年度9月末現在の財政状況を公表します。

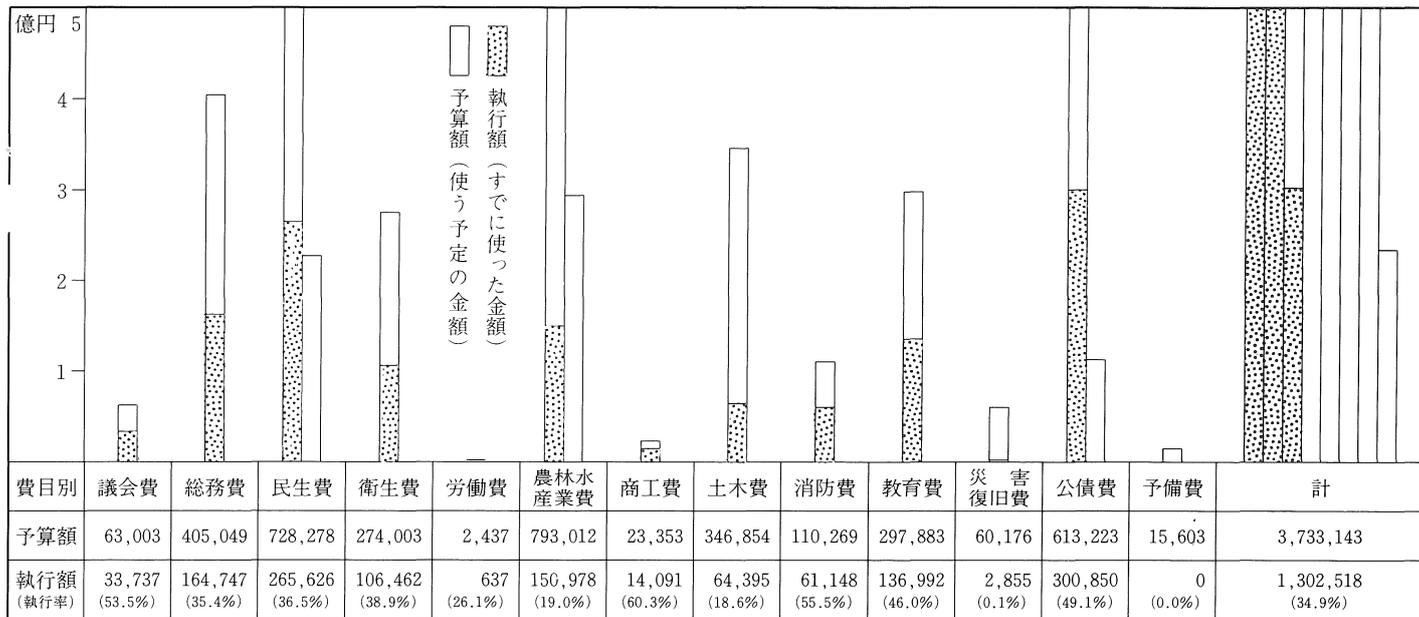
昭和62年11月 長浜町長 西田洋一



会計

歳出（使うお金）

（単位：千円）



特別会計

国民健康保険



予算額 871,429千円
収入済額 309,659千円
支出済額 320,614千円

国民健康保険直営診療所



予算額 12,012千円
収入済額 1,802千円
支出総額 7,663千円

臨海土地造成事業



予算額 827,230千円
収入済額 0千円
支出済額 94,355千円

老人保健



予算額 870,737千円
収入済額 369,685千円
支出済額 368,420千円

住宅新築資金等貸付事業



予算額 41,440千円
収入済額 7,291千円
支出済額 16,364千円

港湾施設事業



予算額 13,172千円
収入済額 4,104千円
支出済額 6,386千円

簡易水道事業



予算額 120,856千円
収入済額 337千円
支出済額 27,633千円

水道事業会計

収益的収入済額	93,785千円
収益的支出済額	62,412千円

工業用水道事業会計

収益的収入済額	6,481千円
収益的支出済額	7,905千円

税別収入状況

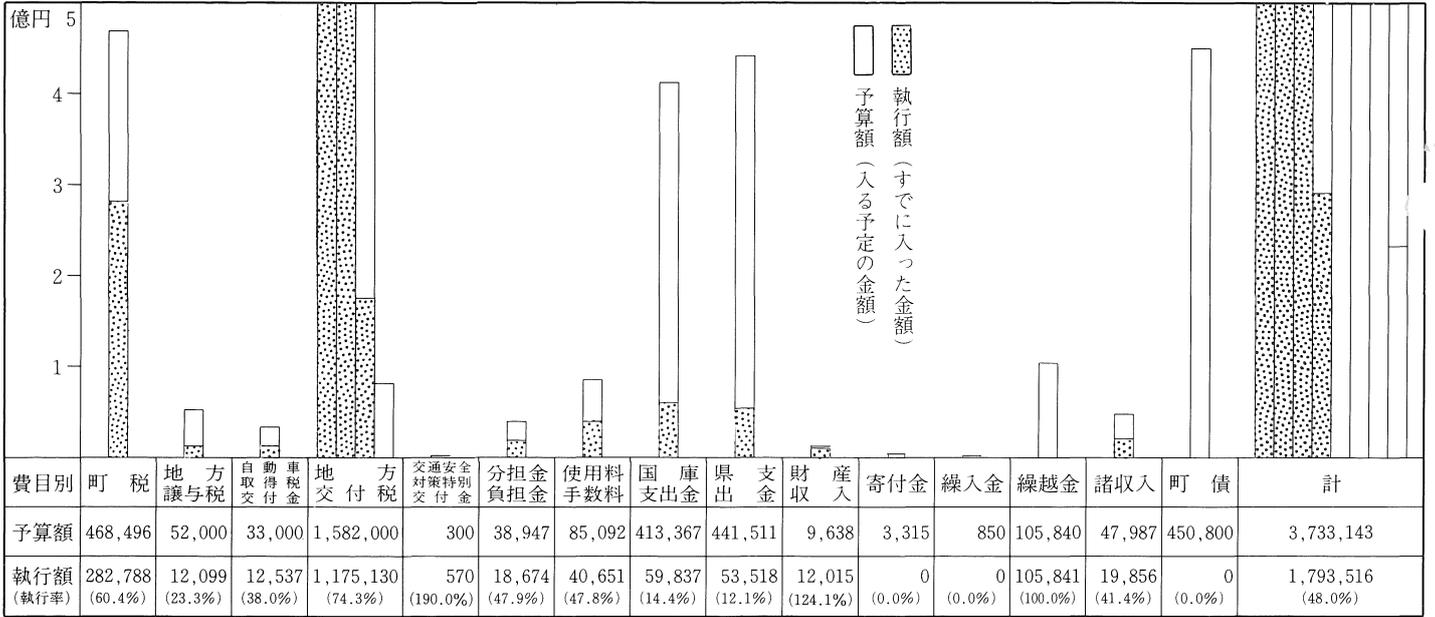
（単位：千円）

税種別	予算額	収入済額
町民税	211,300	124,966
固定資産税	178,218	106,001
軽自動車税	11,365	11,828
たばこ消費税	40,275	26,088
電気税	27,075	13,671
木材引取税	30	0
特別土地保有税	233	234
合計	468,496	282,788

昭和62年度9月末

一般

(単位：千円) 歳入 (はいるお金)



わたしの町づくり今日と明日



豊茂小 四年
上田千代子

十一月三日、長浜町民憲章が制定されたことを記念して、「私の町づくり今日と明日」と題し、五人の方に「私の町づくり提案」を発表して頂きました。

そこで本紙でも、今月号から五回にわたり「私の町づくり提案」を掲載します。

今回は、小学生の部で最優秀に輝いた、上田千代子ちゃんの作品です。

よい長浜町に

長浜町には、よい所は、たくさんあります。みどりは、多いし、けしきのいい所はたくさんあります。それに、日本でも、東京と長浜町にしかない、開閉橋とか、ほかにもたくさんあります。そのよさを知ってもらうために、わたしたちは、協同学習会で、長浜町のよい所を、モザイクの絵で書きました。みかんや、金山出石寺、白たきの、たきと、もみじ、沖うらのお寺、開閉橋、と、書きました。でも、しょうらいは、出海の方に、みかん園を作り、ほかの市、

町、村、の人に来てもらいたいなあと思います。

それに、山を切りくずし、その土を海の方にもって行き、海をうめ立てて、一つは、大きな、工場を作り、わかい人が、わざわざ、松山の方まで行かずにすむのです。

もう一つは、大きな公園を作りたいです。しょうぶ園や、バラ園を作り、あそび道具や、食堂を作り、人々を楽しませたいです。

もう一つは、水ぞく館も作り、めずらしい魚や、タコやイルカや、サメなどを買い入れて、人々が、たくさん、来るようにしたいです。

でも、公園や、いい所は、できても、交通が悪くては、あまりきても、もらえません。だから、長浜町、全部の道路が、二車線の、道路にしたいと思っています。そうしたら、ほかの町からくる人たちが、安心して、来られると思います。

そしていろいろなお店を作っているって、人口も、ふやして欲しいって、いいことだと思います。

それに、山の上に、キャンプ場を作り、いろいろな人に利用されたいです。そのために、自然のけしきを、そのまま、のこしておきたいです。

それから、海をうめ立てたのが、あまつたら、少しでもいいから、住たくや家を作り、お店も、たくさん作り、人口をふやして欲しいって、すみよい、長浜町に、したいです。

企業誘致の足跡

企業誘致の足跡

三十二社が立地

先月号まで二回にわたり、企業誘致の足跡について、その「目的」や「優遇措置」を中心に掲載していますが、今回は、「企業誘致の実績」についてお知らせします。

立地企業

町では、長浜町振興計画基本構想に基づき、新たな企業の立地による雇用機会の増大と、地域経済の活性化を図るため、臨海部の用地造成を推進し、企業誘致の促進に努めてきました。

その成果として、晴海工業団地へ昭和四十六年から昭和四十七年にかけて次の三十二社（一部未操業）が立地しました。

この晴海工業団地は、造成後町内外を問わず広く立地企業を公募したところ、当時（昭和四十六年）はまだ経済の高度成長期時代（末期）で、民間設備投資も盛んだったこともあり、地元企業向け予定面積約三万六千八百平方メートルに対し、譲渡申し込み六十一社、面積二十一万二千平方メートル、需給比率五・七六倍という数値に達しました。同時に、このような需給関係になることを予測していなかったため、団地分譲選考委員会も、その立地企業選考審査には

大変苦慮されましたが、最終的には現在の立地企業三十社（昭和電工、昭和サボア社を除く）を選考決定して分譲し、今日のように立地操業しています。

なお、その時点で選考から漏れた企業数は、三十一社にも及び大変な批判を受けました。町としても、譲渡面積の絶対量が不足してのことであり、需要家の皆さんには大変な迷惑をかけたことが、辛抱して頂き、

今日に至っています。

また、ライジング飯田（株）晴海、ほか、晴海工業団地外へも、町内には、長浜化成（株）（沖浦）・（株）クラボウアパレル（株）（豊茂）・白滝（株）カルビー食品（株）（下須戒）などの企業が立地しました

晴海工業団地へ立地した企業 (順不同)

企業名	企業名	企業名
昭和電工(株)	(有)協和産業	喜多運輸事業協同組合
昭和サボア(株)	(有)長浜木履工場	長浜陸運(有)
長浜青果農業協同組合	伊予自動車工業(株)	日昭(株)
(株)徳山建設	清水木工	小野田セメント(株)
長浜文化燃料製造所	大橋木工所	(合)岸本商店、渡辺繁
西田鉄工所(株)	門田組	光興業(株)
(有)長浜工業	長浜木工所	四国電力(株)
(有)上中木工所	石井ブロック工業	三菱セメント(株)
山木保	(有)長浜水産	(有)満野大商店
箕島建材店(株)	三好鉄工所	(有)高屋建設
(有)三共鉄工	(株)西田興産	

①晴海工業団地の概要

雇用等経済効果

が、いずれの社も町の条例に基づき、それぞれ誘致企業として認定し、各優遇措置（税の減免等）を講じてきました。

②国の工業再配置補助制度

そうしたことから町では、企業誘致を促進する手段として条例を制定し、企業に対し優遇措置を講じていることは、十一月号でお知らせしましたが、これと関連して、企業が立地し、製造事業所を新増設する場合には、町に対し、国から所定の諸施設建設補助金が交付されます。

これは、晴海工業団地が、工業再配置促進法に基づく工業団地に指定されているため、企業の工場新増設床面積一平方メートル当たり五千円の割で補助金が町へ交付される制度です。

③補助制度の実績
この制度により、既に建設された施設等は、次のとおりですが、

工業再配置補助事業

(単位：千円)

事業名	事業費	補助金	一般財源
小浦集会所新築事業	20,555	16,860	3,695
晴海集会所新築事業	7,086	6,380	706
消防団長浜分団第4部 ポンプ蔵置所新築事業	2,250	2,000	250
消防団長浜分団第4部 小型動力ポンプ積載車購入事業	1,620	995	625
計	31,511	26,235	5,276

この補助金は、通商産業省所管の極めて高率の助成であり、現在でも他省庁では類を見ない制度とされています。

ちなみに西条市では、立地企業が多いことから、今日までに約三億円の補助金が交付されているようです。

昭和サボア(株)「優良賞受賞」

誘致企業の中で、昭和サボア(株)長浜工場は、全国安全週間に際して、今年七月一日、東京会館において平井労働大臣から安全成績優良事業場として栄ある優良賞を受

長浜文芸・一歳です

賞しました。

この賞は、長年にわたり労使一体となつての安全管理と公害環境管理が徹底し、他より極めて優れているとして表彰されたものです。

なお、当工場は、操業以来、七月一日現在で約四千八百余日、二百七十七万時間と云う超長期間、無災害、無公害でこの偉業を達成し、今も継続更新中です。

今回は、「企業誘致の今後」についてお知らせします。

長浜文芸

|| 出海短歌会 ||

雨前に採り損ひし椎茸の開きし傘に蝸牛這ふ

西山 晶子

寒椿くれない深く咲く花に庭の冬木の木洩れ陽の差す

平見 朝子

叢雲に遮られたる月の出を冷えたる縁に座りて待つも

池田 蓉子

濡れそぼち諸苗植まつつ既に亡き恩師を想ふ夢の如くに

稲田 都

映の田の稲株はみな芽を吹きて冬枯時を青々と伸ぶ

本田 信子

園庭で焼落すると幼児等の声はずませて落葉を拾ふ

田丸 富枝

自由化の風踏み越えむと長浜の若き等農にいのち燃やしつ

本田重太郎

誕生月には

現況届をお忘れなく

国民年金の老齢年金、老齢基礎年金及び通算老齢年金を受けている人が引き続き年金を受けるためには、年一回、誕生月前の末日から誕生月の始め頃、社会保険庁から「年金受給者現況届」のハガキが送られてきますので、役場住民課で誕生月にはいつてから証明を受け、誕生月の末日までに提出しなければなりません。期限までに提出しなかつた場合は、年金の支払いが一時止められたり、遅れたりしますので必ず送るようにしてください。

なお、年金を受け始めて一年間は提出する必要はありません。

手続きをして

心身障害者見舞金

身体障害者手帳あるいは療育手帳の交付を受けて、十二月一日現在長浜町に住んでおり、住民登録をしている人には、十二月に見舞金が交付されます。

この見舞金を受けるためには、定められた様式で申請手続きをしなければなりません。詳しくは、役場住民課(☎52-1111)へお尋ねください。

【身体障害者手帳】▽一級、二級の方：五千円▽三級、四級の方：四千円▽五級、六級の方：三千円

【療育手帳】▽Aの方：五千円▽Bの方：四千円

いじめ

体罰の根を絶とう

第39回人権週間

毎年十二月四日から十日までの一週間は人権週間です。人権週間は国民一人ひとりが「人権」というものを再認識し、また、自己の行為によって他人の人権を侵していないか反省してみる週間でもあります。私たちが豊かな日常生活を営むためには、お互いの立場を尊重し、自分の権利ばかりを主張することのないよう心がけなければなりません。

今年の人権週間では「いじめ、体罰の根を絶とう」「部落差別をなくそう」「女性の地位を高めよう」「障害者の完全参加と平等を実現しよう」の四項目を強調事項としています。

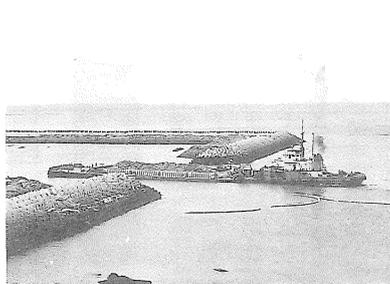
差別、いやがらせ、家庭問題、近所とのもめごと、子供らのいじめ、体罰の問題などでお困りの方は、お近くの人権擁護委員か法務局またはその支局へご相談ください。相談は無料で秘密は固く守られます。

当町の人権擁護委員は次の方々です。

黒田進(長浜) 平田三盛(出海) 土居孝童(柴)

伊方土石投入完了

今坊地区の埋め立て土として、



最終送搬船第23閘門丸

昭和六十一年二月十四日の投入開始以来、二十二か月にわたり続けられた伊方原子力発電所三号機の建設残土、百六十五万立方メートルの投入が、四国電力をはじめ関係者各位の協力により、昭和六十二年十一月二日の第二十三閘門丸(二、五〇〇トン)を最後に、無事完了しました。

今後は、開口部百メートルの護

岸工事を施工し、来春から海底土砂百六十二万五千立方メートルのしゅんせつにより埋め立て造成工事が進められる計画です。

電話機押し売り

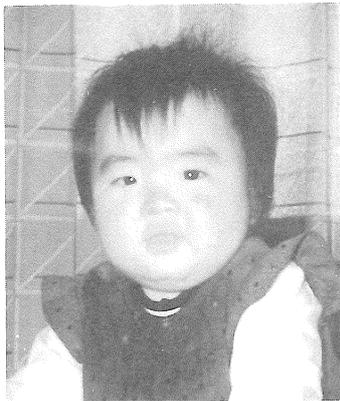
にご注意!!

日本電信電話会社(NTT)の民営化に伴い、電話機の訪問販売会社がNTTの職員を装って、電話機を強引に販売して、全国各地でトラブルが発生しています。

この会社のセールスマンはNTTの職員と同じような紺色の制服を着て、「NTTの特別配慮があり、料金が安くなる。」「黒電話は使えなくなる。」などと言葉巧みに説明して強引に売ったケースなどもあります。本町でも電話機をめぐる苦情が寄せられておりますので十分ご注意ください。

一歳ですコンニチハ(53)

よしひさ 尾崎睦尚ちゃん(長浜)



(父)尾崎勲さん22歳・母)啓子さん23歳

昭和61年12月7日生まれ

見た感じがかっこよさそうな字を二つ選んで並べました。親の様にならないようにと願っています。

今日も元気で

目覚めのから眠るまで

時間をかけてゆったり入る日本式の入浴は、日本人の自慢できる生活習慣の一つといえるでしょう。体を清潔に保つのはもちろん、気分転換や一日の疲れを取るためにも、お風呂の効用は欠くことができません。

また、ふろ場では、裸になって全身の運動をすることができません。四十肩、五十肩の治療には、入浴中の体操がもっとも効果的なのです。ですから、仕事から帰ってふ



ろに入る元気もないなどというの
は、健康状態に問題があるといえ
るでしょう。

体の状態によって ふろの温度調節を

ふろの温度の調節も大切です。身体的な疲れを取るためには、少

入浴 一日の疲れを取り 気分転換の効用も

し熱めのふろに入って、短い時間
で切り上げるのが効果的です。一
方、局所的な疲れや知的な作業で
の疲れをいやす

とき、また、少々気分が悪くて
仕事の能率が上がらないとか身
体がだるいといった時などは、
少しぬるめのふろにゆつくり時
間をかけて入ります。ぬるめの

ふろから出たときは、湯ぎめをし
ないように注意することも大切で
す。
ところで、風邪の特効薬のよう
にいわれている「卵酒」とは、
決してお酒の中に卵を落として
作るものことだけを言っている
ではありません。

頭が痛いとか
重い、あるいは
熱がある、身体
がだるいといっ
た症状がある時
には、「卵」、つまり栄養を十分
に取り、「酒」、つまり睡眠を十分
に取りなさいということなのです。
ですから睡眠をたっぷり取るた
めには、お酒を上手に飲むのもい
いですが、お風呂の活用も考えて
ほしいものです。

習慣にしたい 毎日の体重チェック

ふろ上がりは、せつかく裸にな
っているのですから、ヘルスメー
ターを使って体重を測る習慣を身
につけておきましょう。体重を毎

ばかりでなく、死を招く危険すら
あります。

動物園のサルには胃かいようが
多いといえます。サルの社会は徹
底した階級社会ですから、弱者は
常に強者の一挙手一投足にびりび
り神経をとがらし、ストレスがた
まるからだと言えます。ところが
野性のサルにはそれがありません。
広大な自然の中では、弱者が強者



ストレスを

減らすよい趣味

よいレジャー

社会生活には多かれ少なかれ、
ストレスがつきものです。ストレ
スを受けても無害なものにしてし
まえばいいですが、ガン細胞のよ
うに異常増殖すると健康を損なう

日測っておくことは、健康状態を
正しく把握するうえで非常に有意
義です。たとえば、体重の変化に
合わせて食事や運動など、生活の
様式を改善するのにも役立ちます。

このように、簡単な努力ででき
ることをしないで、医者や高価な
器具などだけに頼るような健康管
理のあり方は、決して科学的とは
いえません。
ヘルスメーターを使って、わず
かな努力で体重を自由にコントロ
ールできる方法を見つけ出してく
ださい。そうすれば、健康管理に
対する自信も生まれることではし
ょう。

日曜当直医

今月の日曜当直病・医院は次の
通りです。受付時間は午前10時か
ら午後5時までで、診療は救急患
者の方だけです。
◎12月6日 石村病院 ☎0275
◎12月13日 清水医院 ☎2883

の目を逃れるためのシエルターが
至る所にあるからです。

富士銀行が昭和六十年一月に発
表した「ストレス調査」によると、
サラリーマン家庭の夫は七五%、
妻は五八%がストレスを感じてい
るそうです。その解消方法として、
夫は(1)酒、(2)寝る、(3)スポーツ、
(4)ドライブ、(5)麻雀・囲碁・将棋
の順で、妻は(1)買い物、(2)おしゃ

乳児健診

- ◎12月20日 米川医院 ☎0165
- ◎12月27日 岡田医院 ☎0639
- ◎12月29日 菊地医院 ☎0209
- ◎12月30日 門屋医院 ☎0202
- ◎12月31日 辻 医院 ☎0174

三歳児健診

- ◎12月10日 町体育館 午後1時
から2時 対象は昭和62年1月、
4月、7月生まれの子供さん。
- ◎12月4日 町体育館 午後1時
から2時 対象は昭和59年9月、
10月、11月生まれの子供さん。

三種混合予防接種

- ◎12月23日 町体育館 午後1時
から1時30分

子宮ガン検診

- ◎12月17日 白滝公民館 午後1
時から2時
- ◎12月18日 町体育館 午後1時
から2時 原則として30歳以上
の方。検診料金七百円。

べり、(3)電話、(4)寝る、(5)酒の順
となっています。

うさばらしの酒はとかく量が増
え、悪酔いしがちでいただけませ
んが、スポーツやおしゃべりなど
は結構なことです。ストレス解消
のために、散歩やクラブ振りなど
何でもいから、年老いても手軽
にできるレジャーや趣味を身につ
けたいものです。

手形がなければ通れない？

～滝まつり～

十一月十五日、白滝で恒例の滝まつりが開かれ、約三千五百人の人出でにぎわった。今年からはSL委員会、青年連絡協議会も参画。たくさんさんの催しが行われ、中でも通行手形を買ってクイズに参加する「白滝関所クイズ」や「豊年おどり」「ふるさとバザール」などが人気を集めた。



活性化求めて

～豊茂ふるさとまつり～

十一月八日、豊茂公民館を主会場に第一回豊茂ふるさとまつりが開かれた。これは、過疎化が進む中で、地域の足もとをみにつめ、活性化を図っていくことを目的に開かれたもので、約七百人の人が参加して、ししやカラオケ大会などでにぎわった。



明日を拓こう

～長浜町生活文化祭～

十月三十一日から十一月二日にかけての三日間、長浜町中央公民館で第十四回長浜町生活文化祭が開かれた。これは、明日の長浜町を展望し、熱気と躍動あふれるふるさとづくりを進め、我が町の生活文化の振興を図ることを目的に毎年開かれて



今年「ふるさとの明日を拓こう文化祭」をテーマに、たくさんさんの催しが行われた。

もちつきペタン

～町長一日保父～

十一月十七日、沖浦保育所（玉井徳美所長）で、西田町長が一日保父を努めた。これは、県保母会主催で県内の市・郡部を順次行っているもので、喜多郡は長浜町が受け持った。誕生会・いす取りゲームのあと、もちつきが行われ、園児らの歌声に合わせて町長がきねを振った。



警察の窓

年末年始の

犯罪と事故の防止に

警察では、十二月初旬から翌年一月中旬までを「年末年始の特別警戒」の期間と定めて犯罪や事故の防止に努めることにしています。次の事項を守って明るく楽しい年末年始を迎えましょう。

被害防止のための

- ・外出時には必ずカギをかける。
- ・混雑する場所ではスリに注意。
- ・訪問販売の契約は慎重に。
- ・銀行で大金を扱う時は、強盗・ひったくりに会わないように。
- ☆交通事故の防止のために
- ・飲酒運転は絶対にしない。
- ・シートベルトを着用する。



タバコは町内で

町内でタバコを買って頂いたおかげで、六十七年度は四千七百二十二万三千二百九十九円のタバコ消費税が町の台所に入りました。これからもタバコを買うときは町内で買って下さいね。

表彰 ***

一宮義徳議員

自治功勞

沖浦の二宮義徳議員（六二）は町村議会議員として二十二年にわたり自治功勞があつたことにより、十月十四日徳島文化センターで行われた第二十八回町村議会議長・職員研修会の席上、中岡幸啓四国地区町村議会議長会から表彰されました。

佐々木澤子さん

民生児童委員

豊茂の佐々木澤子さん（六六）は、民生児童委員として功績があつたことにより、十月二十二日に愛媛県民文化会館で開かれた愛媛県社会福祉大会の席上、渡辺七郎愛媛県社会福祉協議会会長から表彰されました。

伊藤ヨシ子さん

交通事故防止に貢献

長浜町交通安全母の会会長の伊藤ヨシ子さん（今坊・五五）は、地域における交通安全運動を積極的に推進し、交通事故の防止に貢献があつたことにより、十月二十八日に松山市文教会館で開かれた昭和六十二年愛媛県交通安全母の会連合会総会の席上、日野豊同会長から表彰されました。

